

咽頭結膜熱（プール熱）



「アデノウイルス」に感染して、ノドの痛み、目の充血、発熱が起こる病気です。プールで流行することがあるため「プール熱」とも呼ばれています。

潜伏期間：5～6日間

患者年齢：幼児期から小学生までに多い病気です。

感染経路：飛沫あるいは接触感染（プールでの流行は、タオルやビート板を介して感染していると考えられています。）



《症状》 39℃から 40℃の高熱、咽頭痛、頭痛や目の症状（充血、眼痛、めやに）が 3～7 日間続きます。吐き気や下痢を伴うこともあります。

《治療》 特効薬はありません。解熱剤などの対症療法が主になります。

《予防方法》 手洗いやうがい、水泳前後のシャワー、兄弟で使うタオルを別にする、など。

《合併症》 普通は予後の良い病気ですが、稀に重症肺炎、髄膜炎、脳炎を起こすことがあります。

※家庭での注意点※ ~~~~~

- ・高熱が何日も続くので心配になりますが、健康な小児が熱のせいだけで障害を残すことはありません。あまりにきつそうな時は解熱剤を使用し、部屋を涼しくして寝かせておくことです。
- ・ノドの痛みや高熱で食欲がなくなることがあります。プリンやゼリーなどノド越しのよいものを与え、下痢がなければアイスクリームなどを与えても構いません。脱水症の予防に、水分は多めに与えてください。おなかを壊していなければ、好きなジュースでも構いません。スープ類など塩分のとれるものも勧められます。
- ・入浴は、ある程度熱が引いて、元気が出てきてからにしましょう。



「こんなときはもう一度診察を！」



「学校・幼稚園・保育園は？」



- ・水分が取れず、ぐったりしてきた
- ・咳や息苦しさなど肺炎のような症状が強くなってきた場合（重症のことがあります）
- ・他のこどもにうつさないように休ませます
- ・学校へは主な症状が引いた後、2日たつまで登校できません。